

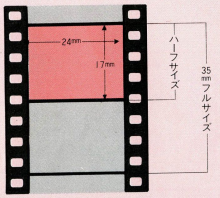
ユニカムコーダーDD



使用説明書

Konica RECORDER DD

お買い上げありがとうございます。ご使用前にこの使用説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。



画面サイズ

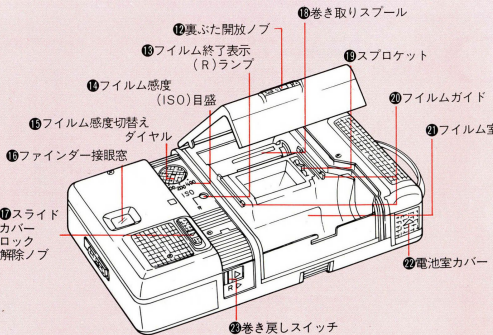
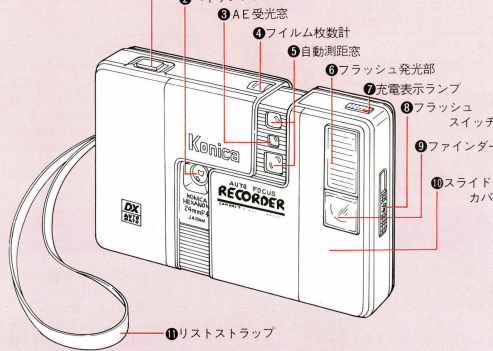
ユニカムコーダーDDは、ピント合わせ、露出調節、フィルム巻き上げ、巻き戻しを自動化した、フィルム感度自動導入の超薄形ケースレスタイプ35mmハーフサイズカメラです。

サクカラカラーには普通感度のSR100、高感度のSR400が用意されています。

撮影手順は、次のとおりです。

- ①電池を入れる
- ②フィルム感度を合わせる (DXコードフィルムでは不要)
- ③フィルムを入れる
- ④ファインダーをのぞいて撮影
- ⑤シャッターボタンを軽く押ししたとき赤ランプが点灯したらフラッシュ撮影
- ⑥写し終わったらフィルムを巻き戻す

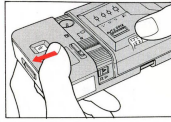
各部の名称



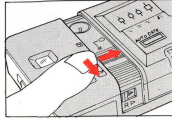
スライドカバーの引出し

このカメラは使用しないときは、スライドカバー①を閉じておき、撮影のときには引出すようになっています。スライドカバーを閉じると、①シャッターボタンにさわってもシャッターがきられません。(安全機構)

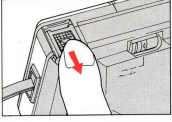
- ②レンズ、自動測距窓、受光窓など、カメラの重要部分を保護します。(ケースレスタイプ)
- ③フラッシュスイッチがONになっているも、自動的にスイッチOFFになります。(安全機構)



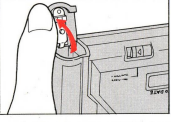
- 1) スライドカバー①をいっぱい引出すと、撮影状態になります。
※シャッターボタン①が押された状態でスライドカバーを引出すと、不用意にシャッターがきれてしまうのでご注意ください。



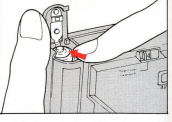
- 2) スライドカバー①を閉じるには、スライドカバーロック解除ノブ②を矢印方向に引きながら、カバーを完全に押し戻してください。



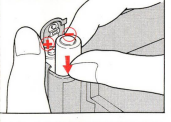
- 1) 電池室カバー②を矢印方向に引いて、



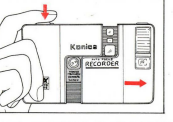
- 2) 電池室カバーを開きます。
※電池を入れる前に巻き戻しスイッチ③のOFFを確認してください。



- 3) 電池室内の凹に合わせて電池を入れます。1本目の電池は凹を上にして入れ、指で奥へ押し込んでください。



- 4) 2本目の電池は凹を上にして入れ、電池室カバーを閉じて押し込みます。
※電池を入れたとき、まれに巻き上げが作動する場合があります。



- 5) スライドカバー①を引出してシャッターボタン①を押し、シャッター音を巻き上げの音がしたら、電池の入れ方はOKです。
※電池の凹をまがえて入れるとカメラは作動しません。
※カメラを2週間以上使わないときは、カメラから電池を取り出しておきましょう。

電池交換の時期

- スライドカバー①を引出してフラッシュスイッチ③を押して、充電表示ランプ⑦が数秒で点灯したら、電池はOKです。点灯まで30秒以上かかるようになったら、同一銘柄の新しい電池を2本同時に取替えてください。
- 常温20℃、新品の乾電池で24枚撮影を使用した場合、フラッシュを使わないときは、マンガン電池・約40本(2000コマ)アルカリ電池・約100本(5000コマ)全部フラッシュを発光させたとき：マンガン電池・約2本(100コマ)アルカリ電池・約5本(250コマ)の撮影ができます。

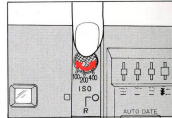
このカメラは単3形乾電池2本を使用します。
※ニッカド電池は使用できません。

2. フィルム感度を合わせてください

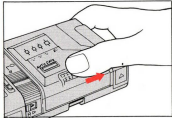
被写体の明るさによって感度のちがうフィルムを使い分けると広範囲の撮影ができます。サクカラカラーには普通感度のSR100、高感度のSR400が用意されています。



DXマーク 'DX': DXコードシステムに対応したフィルムの共通マークです。



- フィルム感度切替ダイヤル④に指をかけ、指標を使用フィルムの感度数値に合わせます。
- ※DXマークの付いたフィルムでは、感度切替ダイヤルの指示に関係なく、フィルムを入れるだけでISO感度が100または200、400に自動セットされます。



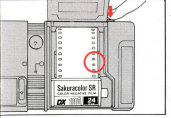
- 1) 裏ぶた開放ノブ②を矢印方向に引くと、裏ぶたが開きます。



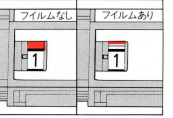
- 2) フィルムをフィルム室④に入れます。パトローネを図のような向きに入れてください。



- 3) フィルムの先端を巻き取りスプール④の溝に差し込みます。フィルムの引出しが長すぎる場合は、パトローネの軸を回して、長さを調節してください。



- 4) シャッターボタン①を3回押して、フィルムを巻き上げてください。パーフォレーションがスプロケット④の爪にかかっていることを確認してください。
※カラ送りの場合もスライドカバー①を引出さないで動作しません。



- 5) 裏ぶたを閉じたのち、さらにシャッターボタン①を3回押してカラ写しをします。フィルム枚数計⑤の赤マークが移動します。

フィルム枚数計について

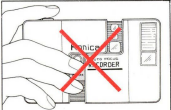
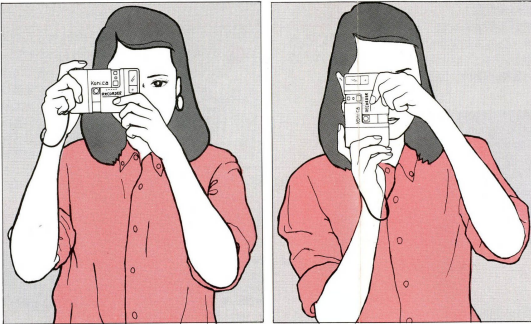
- フィルム枚数計の数字は、3コマ目ごとに表示されますので、写し終わった枚数を確認する目安にしてください。
- フィルムが入っていないときは、シャッターをきった回数と目盛の数字は一致しません。
- フィルムはリーダー部と終りの部分に、長さの余裕がありますので、規定枚数以上の撮影ができます。その目安は、
 - 12枚撮りで、24-約28枚
 - 24枚撮りで、48-約52枚
 - 36枚撮りで、72-約76枚の撮影ができます。

4. 正しい構え方をおぼえましょう

カメラがブレないように注意しましょう。

1) カメラを両手でしっかり持ってひじを軽くしめ、カメラの背面を顔の一部に当ててファインダーをのぞくのがコツです。

2) タテ位置でフラッシュ撮影をするときは、かならずフラッシュ発光部⑥が上になるように構えてください。
※リストストラップ⑪を手首にとおしておくで安全です。



※指や髪の毛などでレンズ②や自動測距窓③、AE受光窓④などをさえぎらないように気をつけましょう。

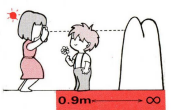
撮影範囲フレーム

5. いよいよ撮影です

ピントと露出はカメラが合わせてくれます。



- 1) スライドカバー①を引出して、ファインダー接眼窓⑩をまっすぐのぞいて構図を決めてください。撮影範囲フレームの内側が写ります。
- ※2m以内の近距離では、被写体をファインダーの中央に入れてください。



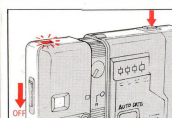
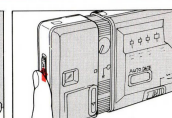
測距についてのご注意

下記のよう被写体は、2m以内で写るとき、まれにピントが合わない場合があります。

- ①黒やグレーの反射しにくいもの(髪の毛など)
- ②光沢のあるもの(車のボディなど)
- ③発光するもの(火花など)

2) シャッターボタン①を静かに押し下げ、シャッターをきります。撮影が終了とフィルムが自動的に1コマ分送られます。
※シャッターボタンを押したとき、ごくまれに電池の汚れなどのためフィルム終了表示ランプ⑬やファインダー内赤ランプが点灯したままになることがあります。このときは電池を清掃してください。

6. 暗いところはフラッシュ撮影で...



シャッターボタン①を半押ししたとき、ファインダー内左上に赤ランプが点灯したら、被写体が暗すぎるのでフラッシュ撮影に切替えてください。

フラッシュ撮影の距離

フラッシュ撮影ではカメラから被写体までの距離を0.9m~4.5mで写してください。

- フラッシュは日中撮影時の補助光としても使用できます。(裏面参照)

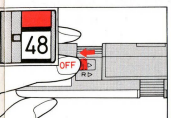
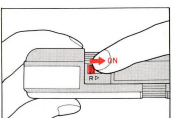
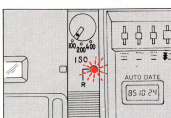
1) フラッシュスイッチ③を押し上げると、スイッチONとなります。(ファインダー内赤ランプは消えます。)

※フラッシュ充電中にシャッターボタン①を軽く押しただけだと、充電が止まり、充電表示ランプ⑦が点灯しませんからご注意ください。

2) 充電表示ランプ⑦の点灯から数秒待ってシャッターボタン①を押し撮影します。撮影が終わったらフラッシュスイッチ③を押し下げOFFにします。
※充電表示ランプの点灯前にシャッターボタン①を押すと、発光しませんが、発光しても光が強く暗く写ります。
※フラッシュスイッチはスライドカバー①を閉じると自動的にOFFになります。

7. 写し終わったらフィルムを巻き戻してください

巻き戻しも自動です。



- 1) 所定の枚数を写し終わって、フィルムが最後まで巻き上げられると、フィルム終了表示(R)の赤ランプ⑭が点滅し、シャッターボタン①を押してもシャッターはきれなくなります。
- 2) ここですぐに巻き戻しスイッチ③を矢印方向に引くと、自動巻き戻しが始まります。
※巻き戻し開始と同時にフィルム終了表示(R)ランプ⑭の点滅は消えます。
※赤ランプが点滅したまま放置すると電池の消費を早めます。

3) フィルム枚数計⑤に赤マークが出たら巻き戻し完了です。巻き戻しスイッチ③を元の位置に戻し自動巻き戻しを止めてください。
※巻き戻しスイッチを元に戻したとき、一瞬巻き上げが作動することがありますが故障ではありません。

4) 裏ぶた開放ノブ②を引いて裏ぶたを開け、フィルムを取り出してください。



※写し終わったフィルムは、なるべくお目玉にカメラ店にお持ちになり、「サクカラクラブプリント」とご指定ください。美しい仕上がりが約束されます。

